

「ミマモリングソフトセミナー」 保育実践シート（サンプル）のご紹介

第299号 2022年11月21日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていけるよう
活動していきます。

株式会社ガガヤ 奥山卓矢

「保育実践シート」 サンプルのご紹介

保育支援ソフト「ミマモリング」を活用したウェブセミナーを
定期的で開催しています。[（詳しくはこちらから）](#)
随時受付中です！

セミナーの特徴の1つに、テーマを設け実践したレポートを
ご提出頂いています。それぞれの園の実践レポートを閲覧し、
園同士で学び合う場を設けています。

今回は、先生方にご提出頂いている「保育実践シート」のサンプル
のご紹介です！

実践シートの園見学の際にもこちらのポイントを意識して、
また見学先の先生方に質問をして頂くと、自園に持ち帰り実践が
行いやすいポイントです。ぜひ、参考にしてください！

保育実践シート（実践内容の概要）

クラス：0歳児
領域：健康
カテゴリ：体を動かす遊び
課題：MO 一人一人の発達に応じて、はう、立つ、歩くなど、十分に体を動かす。
上記の項目を選んだ背景：ずり這を良くしているため、活発に動きたくるような環境を
用意したいと思ったから。



すると



ローソファーに置いていたティッシュを
取るうとする姿が見られ、起伏があったり、
動きたくる環境を用意したいと思った。

以前に増して、よく動くようになった

保育実践シート（実践内容の概要）

クラス：0歳児
領域：健康
カテゴリ：体を動かす遊び
課題：MO 一人一人の発達に応じて、はう、立つ、歩くなど、十分に体を動かす。
上記の項目を選んだ背景：ずり這を良くしているため、活発に動きたくるような環境を
用意したいと思ったから。



すると



ローソファーに置いていたティッシュを
取るうとする姿が見られ、起伏があったり、
動きたくる環境を用意したいと思った。

以前に増して、よく動くようになった

【1 ページ目】

「ミマモリングソフト」は、保育所保育指針等 3 法令に準拠した
項目がソフト内に盛り込まれています。実践頂く際には、5 領域の
どの項目について実践したかの概要を紹介いただいています。

配慮・工夫した点

【取り組むとき、どのような工夫をしましたか？】

クッションとマットを使って簡単な坂道を作り、起伏を用意し上げていきたいと思うよう、おもちゃを吊り下げたり・取りたくなるように散らばす。



吊り下げているメリーが回転するのを眺めたり、触ると手を伸ばそうとする。また、座位の姿勢で手を伸ばし掴めるよう、高さを調整した。



体を動かしたくなるよう、好きな玩具を置く。おもちゃで遊んで止まってしまうことが多く、起伏を上り切って、下ることは今のところ見られない。

【2 ページ目】

具体的に取り組んだ内容について写真につきでその時々様子をレポートして頂きます。環境に置き換えるポイントなどを意識して取り組んで頂いています。

子どもの様子の変化

・子どもたちの様子はどう変化しましたか？ (子どもたちの遊び方から学んだことなど)

動きたい様子がよく見られるので、可能な限り制止しないでいいよう、自由に遊べる環境づくりが大切だと思いました。

今、興味・関心が高いのは、「スマホ」と「ティッシュボックス」。机や床、ローソファに置いてあると衝突猛進していく姿が見られる。ケガ防止と、取りたい気持ちも軽減しないでいいよう、見えるところには置かない。

その代わりに、やりたい気持ちを止めないでいいよう、ティッシュボックスの代わりに、布を取れるおもちゃを用意しました。制止するだけではなく、やりたい気持ちを大切に、環境を作っていくことが大事だと学びました。



実践発表会の先生が紹介してくれた「無限ティッシュ」を取り入れました！
本当は、1箱くらいなら好きなだけティッシュを出してもいいと思っていますが、ティッシュを口に入れてしまうので、代替品として用意しました。

ケースは100均で購入。布は、薄いハンカチ生地で購入。糸がほつれやすいため、今後フェルトのような厚手のものに変更予定です。

【3 ページ目】

子どもたちの様子や反応から学んだこと、気づいたこと等、環境設定を行い見えてきたことを明記して頂いています。

課題と次にやってみたいこと

・取り組んでみる課題

クッション・マットを使った起伏は、常設していないので「動」と「静」の環境づくりを限られたスペースの中で、どう作れるかが課題だと思いました。体を動かすことが楽しい時期で、顔をぶついたりなどが起こりやすいため、机の角などにクッション材を付けるなどの工夫も考えていかなければいけないと思いました。

・次にやってみたいこと

ハイハイが十分できるようなスペースの確保。
ハイハイをしたくなるよう、好きなおもちゃを散らばしておく。
「動」の遊びと、「静」の遊びとどちらも体験できるよう時間帯によって、出すおもちゃを替える。
「動」：ハイハイが出来るようなスペース確保・起伏など
「静」：絵本の読み聞かせなど

【3 ページ目】

課題や次にやってみたいことは、翌月の保育に繋がり、レポートを手にとった他の先生方にとっては、自園ではどんなこと実践が行えるかのヒントになります。

失敗談・ヒヤッとしたこと

・失敗談

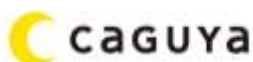
クッションでつくった起伏に思ったより上らない。ちょっと先に発達の準備をしまい、興味が高くなかったかもです。それよりも、ローソファや布団をよじ登ったり、大人の足を絡まりながら、越えていこうとする姿が見られ、意図していないものに興味を示した。先の発達の準備をしすぎたかもしれない。

・ヒヤッとしたこと

欲しいものに向かっていくため、机の角に頭がぶつかりそうになったり、物を取りに行くことに夢中になり、バランスを崩すことがあるため、危険そうな角にクッション材を貼り付けた。手をすぐに出せる距離感で見守ることが必要だった。

【4 ページ目】

失敗談・ヒヤッとしたことも大切な学びで、上手くいったことだけを学び合うことが目的ではありません。実践を真似していく時のヒントにもなります。



〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 1-1-17 東京堂神保町第3ビルディング 8階

Tel: 050-1744-8823

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢

ミマモルジュメールマガジン



メールマガジンのご登録は、QRコードからお願いします。